

介護の現場で聞きました

異業種から転身して2年、介護福祉士をめざして奮闘中



しまさき ひさえ
嶋崎 久恵さん(41歳)
介護職員・介護業界3年目

デイサービス施設で利用者の送迎や施設での脳トレ、レクリエーション、入浴やトイレといった日常生活の介助をしています。私が大切にしているのは、利用者に「安心して動いてもらう」こと。それぞれ運動能力が違ったり、人によっては軽度の麻痺があったりするので、その人に合わせた寄り添い方を心掛けています。皆さんが安心して楽しく過ごせることで、施設全体に笑い声があふれていると、「この仕事をやってよかった」と思います。また、利用者の方はいわば「人生の先輩」なので、普段接している中でいろいろな学びがあることも、この仕事の魅力ですね。

介護職には「きつい」イメージがあるかもしれませんが、介助は複数人で行いますし、コツを覚えれば体力的にはしんどくありません。また、勤務時間は8時間程度で、残業もそれほどありません。4週8休できちんと休めるので、娘たちと出掛ける機会も増えました。来年には介護福祉士試験が受験できるので、勉強も頑張っていきます！



利用者の歩行に寄り添う嶋崎さん

介護は僕の天職、ずっと続けていきたい

「人の役に立ちたい」と高校卒業後に介護福祉士の養成学校に進学して、介護業界に入りました。自分の理想の介護を実現するために、10年前にデイサービス施設を立ち上げ、現在はその運営とケアマネジャーをしています。ケアマネジャーは、「介護が必要になった方が介護保険を使えるように調整する」仕事。介護保険について、制度の説明をしたり、ベストなプランを考えて手続きをしたりしています。

高齢になって仕事を引退したり病気や怪我をしたりすると、日常的な活動の減少とともに、体力の衰えや認知症の症状が出やすくなります。そういった方々にデイサービスで活動してもらうことで、いつまでも元気でいてほしいと願っています。

以前、長期の入院をきっかけに家族のことも分からなくなってしまった方が、施設での活動を通じて記憶が戻り、むしろ他の利用者のお世話をしてくれるまでになりました。嬉しかったですね。介護はやりがいのある、僕にとって天職です！



利用者の歩行訓練を見守る森田さん



もりた まこと
森田 誠さん(46歳)
ケアマネジャー・介護業界24年目

申し込み不要 介護カフェ in オーテピア

こうち介護カフェは、介護に関する情報や悩み、相談したいことなどを共有する「つながりをつくる場」です。今回はオーテピアで初開催！介護がテーマの出展ブースや講演会・展示などで、介護の世界に触れてみませんか。

いま介護の仕事を頑張っている方、めざしている方、興味のある方など、どなたでもお気軽にご参加ください！



介護保険課の皆さん

日時 9月10日(日) 12時～17時
場所 オーテピア(多目的広場、4階ホール・研修室)

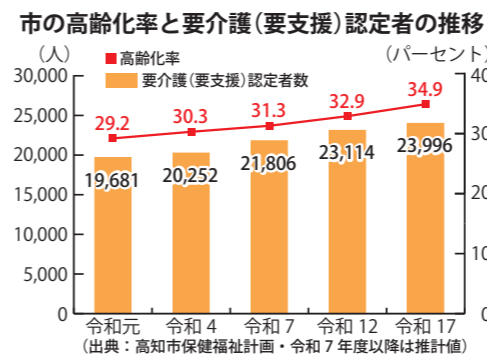
- 介護のプロがやってくる！出展ブース
市内の事業所や法人が介護の情報をお届け
- 子どもも楽しめるお楽しみコーナー
介護に関する紙芝居やバンド演奏のほか、子ども向けの縁日コーナーや敬老の日に渡せるプレゼントづくりなど
- 誰でも！介護について考える交流コーナー
介護の仕事・家庭内介護をテーマにしたゲームなどを通じて、交流やネットワークづくりに

詳細 この記事についての問い合わせは 介護保険課 ☎823-9972

介護のおしごと



健康上の問題がなく日常生活を送ることができる期間を「健康寿命」といい、市でもいきいき百歳体操など、さまざまな介護予防を行っています。それでも、介護が必要になったとき、頼りになるのが「介護サービス」。超高齢化社会を迎える中、高齢者等の暮らしを支える「介護のおしごと」が注目されています。



「全国に約10年先行して高齢化が進んでいる」といわれている高知県。本市においても、総人口に占める65歳以上の割合「高齢化率」は令和4年度の時点で30.3パーセント。令和12年度には32.9パーセント(推計)まで上昇し、「およそ3人に1人が高齢者」になるとされています。介護が必要となる人も増加しているのが「要介護(要支援)認定者」の数。これは「日常生活を送るには誰かのサポートが必要」と認定された人のことで、令和4年度に約2万人だった同認定者は、令和12年度には2万3000人を超えると見込まれています(左グラフ参照)。

高知は「高齢化先進県」

「介護のおしごと」って？
要介護(要支援)認定者の日常生活をサポートするのが「介護のおしごと」。特別養護老人ホームなどの入所施設や、デイサービスなどの通所型施設、自宅を訪問する訪問介護(ホームヘルプ)で、利用者の食事や入浴など生活全般をサポートします。要介護(要支援)認定者が増加すると、ニーズは今後もますます高まるでしょう。

自分の得意分野を生かせます
介護の仕事は資格がなくても始められますが、専門の学校に通うか実務経験を積んで研修を修了すれば、介護福祉士の国家試験を受けることができます。他にもケアマネジャーや生活(支援)相談員などの職種があり、より専門的な知識や技術を生かしたサポートを提供できるようにするほか、収入が増えるなど労働条件の向上も期待できます。

介護の仕事に年齢制限はありません。何歳からでも、未経験でも始めることができます。知っているようで意外と知らない「介護のおしごと」のこと。あなたのチカラで誰かを笑顔にしてみませんか。

「介護のおしごと」の代表的な職種

<p>介護職員</p> <p>介護福祉施設で、利用者の身体介護や生活援助、レクリエーションの提供等を行います。</p>	<p>訪問介護員(ホームヘルパー)</p> <p>利用者のお宅に訪問し、身体介護や外出支援等の移動介助、家事の援助や代行を行います。</p>	<p>ケアマネジャー</p> <p>介護を必要とする方の相談に乗り、適切なケアプランの作成や実施状況の確認を行います。</p>	<p>生活(支援)相談員</p> <p>高齢者福祉施設で、利用者やその家族からの相談を受け、関係機関への連絡等を行います。</p>
--	---	--	--